

環境学習 幸ヶ谷小学校 マイクロプラスチックの調査を実施しました

実施日 : 令和元年10月10日(水) 9:30~12:00

場所 : 潮彩の渚 (当事務所構内の人工干潟)

参加者 : 幸ヶ谷小学校 37名 (5年生 35名、担任 1名、サポーター 1名)、いであ株式会社 4名、
横浜市環境創造局環境科学研究所 所員 1名、当局職員 6名 計 48名

当事務所構内の「潮彩の渚」(人工干潟)に幸ヶ谷小学校の児童が来所し、「マイクロプラスチックの調査」を行いました。この調査は、横浜市環境創造局の「出前講座」制度を活用したもので、幸ヶ谷小学校の児童からの発議で、昨年度より実施しています。

「潮彩の渚」では、横浜市環境創造局環境科学研究所の方が調査の内容、方法などを説明しました。

また、「潮彩の渚」にて別にマイクロプラスチックの調査を行っているいであ(株)の方より採取方法の説明を行い、小学生全員で「潮彩の渚」の砂浜全般でマイクロプラスチックの採取・計測を行いました。

場所ごとにマイクロプラスチックの採れる量が違うことに子供達は興味を示していました。採取した結果、今回の調査では緑色をした人工芝が小さくなったものであろうマイクロプラスチックが数多く見られました。子供達は自分で持ってきたケースにマイクロプラスチックをいれて、どのあたりに多いかという点に疑問を持ち、すくった砂を手の上で平らにして細かく見ながら熱心に調べていました。また、マイクロプラスチックの採取を行うと同時に「潮彩の渚」に漂着したゴミ拾いも行いました。ゴミを拾いながらこういったものがマイクロプラスチックになるのかということへの興味を持つ子供達の姿も見受けられました。その後、それぞれが採取したマイクロプラスチックの大きさを自分で測り、シートに記入しました。今回の環境学習会を通じマイクロプラスチックの実態にふれ、プラスチック等のゴミが、海や海に住む生きもの達に与える影響について少しでも考える良い機会になってくれればと思います。



「潮彩の渚」(人工干潟)の説明



マイクロプラスチック採取①



マイクロプラスチック採取②



マイクロプラスチック採取③



マイクロプラスチック採取③



マイクロプラスチック採取④

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所

〒221-0053 横浜市神奈川区橋本町 2-1-4

TEL:045-461-3896 FAX:045-461-3898

環境課長 小野寺 克幸